

感染性胃腸炎 対策について

晩秋の11月から冬にかけては、インフルエンザはもちろん、ウイルスや細菌による感染性胃腸炎などの感染症が流行するシーズンです。多くはその原因となるウイルス等が付着した手指や物品を介して感染を広げていきます。



ノロウイルス感染症について

【原因ウイルス】 ノロウイルス感染症は、ウイルスの中でも特に小さく丸い形をしている「ノロウイルス」によって引き起こされます。一般的

には、牡蠣などの二枚貝を原因とする「食中毒」の原因として注目されますが、最近ではヒトからヒトへの感染や汚染された器具が原因で感染する「感染症」としても重要視されています。潜伏期間(感染から発症まで)は通常24〜48時間です。

【流行時期・好発年齢】 11月ごろから流行しはじめ、12月〜翌年1月が発生のピークになります。乳幼児から成人・高齢者まで、年齢に関係なく発症します。

【主な症状】 吐き気・嘔吐・下痢・腹痛です。突然、吐き気や嘔吐を発生し、続いて下痢・腹痛が起こってきます。発熱はあっても軽度で、通常これらの症状が1〜2日続いた後、治癒し、後遺症もありません。しかし、体力の弱い乳幼児や高齢者などでは下痢による脱水症や合併症により重症化することがあります。なお、感染しても軽い風邪のような症状にとどまり、また自覚症状がほとんど認められない事もあります。

【予防法・消毒法】 ノロウイルスは非常に感染力が強く、人の腸管内で急速に増殖し、ヒトからヒトへ広がります。下痢や嘔吐などの症

状が出ている人の便や嘔吐物の中にウイルスが存在するので、これらの始末の後、十分な手洗いが特に大切です。処理・消毒には、塩素系消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム)が有効です。ウイルスは乾燥すると空气中に漂い、口に入って感染することがあるので、便や嘔吐物を速やかに処理し、乾燥させないことが重要です。また、住環境(ドアノブ、カーテン、日用品等)からもウイルスが検出されることがあり、同様に塩素系消毒薬が必要になることがあります。ただし金属腐食性がありますので、消毒後の薬剤の拭き取りを十分にするように注意してください。

ロタウイルス感染症について

【原因ウイルス】 「ロタウイルス」というウイルスによって起こる、子どもに多い急性胃腸炎です。感染しても無症状のこともあります。が、便からはウイルスが排出されているために無症状でも感染力があります。他のウイルス性胃腸炎に比べ、下痢や嘔吐の症状が激しいことが多く、入院が必要な小児の急性胃腸炎の原因の50%を占めると言われています。潜伏期間は24

〜78時間前後と、ノロウイルスより少し長めです。

【流行時期・好発年齢】 例年1〜4月にかけてピークがみられます。生後3カ月までは、母親からもらった抗体と母乳に含まれる抗体による免疫力で感染しにくいですが、生後3カ月以降から感染を起こしやすくなります。生後6カ月から2歳の乳幼児に多くみられ、5歳までに大部分の子どもが感染します。

【主な症状】 1〜3日見られる嘔吐、3〜10日程度続く下痢、39℃以上の発熱です。発熱と嘔吐で発症し、続いて頻回の下痢がみられます。下痢の程度はウイルス性の中では一番重く、また米のとき

汁のような白色の水様性下痢により、乳幼児では脱水に陥りやすく注意が必要です。通常は自然に治っていきますが、発熱の頻度が高い影響で以下に示すような重症な合併症もあります。

- ・高度の脱水による意識障害や脳梗塞
- ・意識障害やけいれんを起こす脳炎・脳症

これらの合併症は、てんかんや発達障害などの後遺症を残します。

【予防法・消毒法】 ノロウイルス感染症と同様に十分な手洗いが中心になります。特にトイレの後や食事前の手洗いは必須で、消毒にも同様に、塩素系消毒薬が有効です。予防法においてノロウイルス感

染症との相違点は、ワクチンの接種によってロタウイルスの感染と重症化を防ぐことができることです。我が国においては平成23年11月の認可以降、任意接種(自費)にて受けることはできませんが、まだ定期接種には至っておらず、高額の負担が必要になります。それでも徐々に接種件数は増えてきています。

感染性胃腸炎の治療法

ノロウイルス、ロタウイルスともに特效薬はなく、対症療法が中心です。下痢による水分の喪失を防ぐために水分補給がとて大切で、熱中症の際に使う経口補水液が有効です。経口での水分補給が難しい

場合は、点滴が必要になり、場合によっては入院が必要になります。

お願い

感染性胃腸炎の予防における手洗いと消毒の大切さはこれまで述べた通りですが、地域のかかりつけ薬局においても手洗いや消毒法についての指導を受けることができますので、お気軽にご相談ください。また、保育園、学校や高齢者の施設等で発生したときは早く診断を確定し、適切な対症療法を行うとともに、感染経路を調べ、感染の拡大を防ぐことが重要ですので、速やかに最寄りの保健所にご相談ください。

(もなみ薬局 木村 勝)

基準薬局リスト

横浜市		
青山薬局	☎0182-42-4003	☎42-0750
石田薬局	☎0182-32-0069	☎32-9342
雄物川みよし薬局	☎0182-22-3434	☎22-3435
オレンジ薬局横浜店	☎0182-36-3177	☎36-3178
鍛冶町さいた薬局	☎0182-33-1751	☎33-1752
くら薬局	☎0182-35-5630	☎36-3678
小池調剤薬局	☎0182-33-0456	☎33-0457
さいた薬局	☎0182-33-4814	☎33-1273
さいた薬局よこて町店	☎0182-33-6662	☎33-0202
下田薬局	☎0182-32-0583	☎32-0583
たんぼほ薬局	☎0182-35-5221	☎35-5222
にいはら薬局	☎0182-42-3505	☎42-3512
ネノヒ薬局	☎0182-32-2520	☎32-2521
橋本薬局	☎0182-22-4149	☎56-2188
平鹿調剤薬局中央店	☎0182-33-2272	☎33-3164
ヤナギ薬局	☎0182-22-3013	☎22-4200
やまさ薬局	☎0182-32-2739	☎32-8934
横浜南薬局	☎0182-32-2422	☎33-6064
湯沢市		
うちだて調剤薬局	☎0183-78-0080	☎78-0081
雄勝調剤薬局	☎0183-72-3210	☎79-6550
小町堂薬局	☎0183-52-4264	☎52-4782
つるだて薬局	☎0183-72-3813	☎72-3814



お薬手帳



基準薬局の看板

処方せん公文書の有効期限は処方日を含めて**4日間**です。

秋田県薬剤師会

秋田市千秋久保田町6-6 TEL.018-833-2334
E-mail info@akiyaku.or.jp
http://www.akiyaku.or.jp